

第2学年3組 国語科学習指導案

単元名：二つのせつめいをくらべて道ぐはくぶつかんをひらこう
「ふるしきは、どんなぬの」

男子 12 名 女子 14 名 計 26 名

指導者 杉本 裕子

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語第1学年及び第2学年「C読むこと」の指導事項「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」の内容を受けて設定したものである。学習指導要領の言語活動例（2）「ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。」を基に、道具について説明する文章を読み、道具の説明をするカードを書くことを言語活動として位置付ける。

本単元では、文章に書かれている内容を事柄の順序に気を付けて正しく読み取るとともに、2つの文章を比べて読むことを通して、場面や用途により説明の仕方が違ってくことに気付かせ、説明の仕方や文章構成などの表現方法に着目しながら読む力を育てることをねらいとしている。

本教材は、カードと本の2つの文章で構成されている。カードは物の役目、便利さ、丈夫さの観点の3項目の箇条書きの文章であり、簡潔に道具の特徴が分かる説明の仕方になっている。一方、本は「始め」「中」「終わり」で構成された文章で、物の役目、便利さ、丈夫さがカードと同じ観点でより具体的な活用方法と利点を含めて書いてあり、詳しく道具の特徴を説明している。2つの文章の同じところや違うところを見付ける学習を通して、内容を読み取る力を身に付けることができると考える。

- 本学級の児童は、第2学年の5月単元「説明文を正しく読もう」の教材文「たんぼぼ」を読んで、時を表す言葉に着目し、説明の順序や大事な言葉に気を付けて読むことを学習した。繰り返し出てくる言葉に着目し、段落ごとに何が書かれているのかを読み取り、たんぼぼのひみつを短い文章や言葉でまとめてきた。しかし、大事な言葉を落とさずに一人でまとめることは難しく、学級全体でまとめることが必要であった。また、大まかな内容は読み取っていても、正しく読み取ったり書き出したりすることが不十分な児童も多かった。

また、4月に行った「海田町標準学力調査」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読んで答えたり、説明したりする問題の解答状況によると、達成率は全国平均より9.2ポイント上回ったが、学年平均より1.8ポイント下回った。よって、文章の内容の大体を読んだり、そこから大事なことを落とさずに書き出したりする力が十分とは言えない。

○課題を発見・解決する力

道具博物館を開き、掲示するためにはどんな説明の仕方がふさわしいのか、説明することの必要性を感じさせて2つの文章を読ませたい。導入では、水族館や動物園などの説明の仕方を想起させ、説明の仕方について興味をもたせたり、ふるしきがどんな道具かを説明させ、うまく説明ができないという困り感をもたせることで、学ぶ必要性を感じさせたりする。そして、2つの文章を比べながら読むことを通して、いろいろな説明の仕方の共通性や違いを読み取らせた上で、道具博物館の展示にふさわしい説明の仕方を学んで行くことを伝え、道具博物館に展示するカードを作るというゴールを意識させる。また、身の回りにある道具について、物の役目、便利さ、丈夫さの観点を踏まえた自作の読み物教材を作成し、児童が自由に読むことができる環境を整えておく。

○深く考える力

本単元で付けたい思考力は、2つの文章をもとに、同じところや違うところを比較する力である。

カードと本の文章を読み比べて、気付いたことを付箋に書いていく。それを思考ツールのベン図に整理することで、2つの文章には同じところや違うところがあることに気付かせる。同じところに気付かせることで、事柄の順序について考えさせ、違うところについて場面や用途によって説明の仕方が異なることに気付かせる。

道具博物館の掲示には、道具の説明が端的に書かれているカード形式の方が、見る人にとって分かりやすいことに気付かせることで、カードに書いていくことの必要性を確認し、カード作りへの意欲へつなげたい。カードを書く際には、道具を説明する事柄の順序（物の役目、便利さ、丈夫さ）に注意して文章を読み取り、カードを書かせるようにする。

○自己を理解する力

課題設定の段階において、単元のゴールを明確にするとともに、道具博物館の掲示にはどんな説明がふさわしいかを考える必要があることに気付かせる。そのために2つの文章を読み比べていくことを通して、どんな力を付けたらよいかを児童とともに考える。振り返りの段階では、2つの文章を比べて同じところや違うところを見付けることができたかどうかや、道具の特徴を読み取り、道具博物館の掲示カードを書くことができたかの自己評価を行う。振り返りを通して、道具の特徴を説明することができた達成感を味わわせることで、場面にあった説明の仕方を考えて、説明するという今後に生かしていきたいという興味、関心へとつなげたい。

単元の目標及び内容について

- 2つの文章を比べて同じところや違うところを見付け、道具の特徴を読み取ろうとする。

【関心・意欲・態度】

- 道具についての説明文を、事柄の順序（物の役目、便利さ、丈夫さ）に気を付けて読み取ることができる。

【読むこと イ】

- 主語と述語の関係に注意して、まとまりのある文をカードに書くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ（カ）】

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
【単元を貫く言語活動】 道具について説明している文章を読み、説明するカードを書く。		
2つの文章を同じところや違うところを見付けながら比べて読み、道具の特徴を読み取ろうとしている。	道具についての説明文を、事柄の順序（物の役目、便利さ、丈夫さ）に気を付けて読み取っている。	主語と述語の関係に注意して、まとまりのある文をカードに書いている。

指導と評価の計画

全 11 時間

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（２） ○ 2つの文章を読み，説明することに意欲をもつ。 ・ ふろしきの説明をしてみることで，説明することの必要性に気付く。 ・ 2つの文章を読み，いろいろな説明の仕方があることを知り，道具について説明カードを書くことに意欲をもつ。	○			・説明の仕方を学ぶ必要性を感じ，道具の説明カードを書くことに意欲をもっている。	行動観察
	2	○ 2つの文章を比べて読むことを知り，学習の見通しを立てる。 ・ 学習のゴールの見通しをもち，学習計画を立てる。	○			・カードを書くためにどんな力を付けていくか考えて学習の見通しをもっている。	行動観察 ノート
二	3	情報の収集（１） ○ 2つの文章を比べて，同じところや違うところを見付ける。 ・ ペン図を用いて，2つの文章を比べて，同じところ，違うところを見付ける。 【本時】		○		・ 2つの文章を比べて同じところや違うところを見付けている。	行動観察 ワークシート
	4	整理・分析（２） ○ 2つの文章を比べて，違うところについて考える。 ・ 文の数の違いや一文の長さの違いの意味や効果について考える。		○		・ 文の数の違いや一文の長さの違いを読み取って，意味や効果について考えている。	行動観察 ノート

身の回りにおける道具についての並行読書

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
二	5	<p>○文章が使われる場面や用途によって違いがあることに気付き、それぞれのよさを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの文章にしか書かれていない部分の内容を読み取り、より具体的な活用方法や利点を書かれていることに気付く。 ・2つの文章が使われている場面を考えながら、場面や用途によって文章の書き方に違いがあることに気付き、それぞれのよさを考える。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・場面や用途によって書き方に違いがあることに気付き、展示には短い文章がよいことを理解している。 	行動観察 ノート
	6	<p>まとめ・創造・表現 I (2)</p> <p>○文章からランドセルの特徴を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をもとに、ランドセルのよさを読み取る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルの物の役目、便利さ、丈夫さの3つの観点を読み取っている。 	行動観察 ノート
	7	<p>○カードにランドセルの特徴を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の使い方や効果を考えながら、よさが伝わる特徴を選んで分かりやすい文章にまとめてカードに書く。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルの物の役目、便利さ、丈夫さの3つの観点を、大事なことを落とさないように短くまとめてカードに書いている。 	行動観察 カード
	8	<p>まとめ・創造・表現 II (2)</p> <p>○文章から道具の特徴を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ道具について、よさを読み取る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ道具の物の役目、便利さ、丈夫さの3つの観点を読み取っている。 	行動観察 ノート
	9	<p>○カードに道具の特徴を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の特徴を伝えるために、必要な情報を選び取り、分りやすくカードに書く。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ道具の物の役目、便利さ、丈夫さの3つの観点を、大事なことを落とさないように短くまとめてカードに書いている。 	カード
	10	<p>振り返り (2)</p> <p>○作品を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを読み合い、道具の特徴が分りやすく書けているか確かめる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を交流し、物の役目、便利さ、丈夫さの3つの観点をまとまりのある文が書かれているか確かめている。 	行動観察

身の回りにある道具についての並行読書

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
三		○作ったカード展示して道具博物館を開き，友だちの作品について感想を伝える。					
	11	学びのモニタリング ○自分の学びを振り返る。 ・進んで同じところや違うところを見つけようとしたことや道具の特徴をドに書けたことを振り返る。	○			・進んで同じところや違うところを見つけようとしたことや道具の特徴をカードに書けたことを振り返っている。	行動観察 ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

- 2つの文章を比べて，同じところや違うところを見つけ，説明の順序が同じであることに気付くことができる。

(2) 本時の評価規準

- 2つの文章を比べて，同じところや違うところを見つけて，説明の順序が同じであることに気付いている。 【読む能力】

(3) 本時の学習展開（3時間目／全11時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の課題を確認する。 めあて 二つの文しょうをくらべて，どうぐのせつめいのしかたのじゅんじょを考えよう。	◇2つの文章を比べて同じところや違うところを見付けることを確認し，学習の見通しをもたせる。	
本時のゴールの見通し（評価基準） A：2つの文章を比べて，同じところや違うところを見つけて，説明の順序について考え，説明している。 B：2つの文章を比べて，同じところや違うところを見つけて，説明の順序について考えている。		
2 「カード」と「本」の文章を比べて，同じところと違うところを見付ける。 ○「カード」と「本」の文章を比べて，気付いたことは何ですか。	◇2つの文章を1枚にまとめたプリントを用意し，比べやすいようにする。 ◇全体で，2つの文章を比べて同じところ違うところを複数あげて，やり方の確認をする。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>		
<p>○「カード」と「本」の文章を比べて、気付いたことを付箋に書いて、ベン図に整理してみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 比較する</p> <p>見付けたことを付箋に書き、同じところと違うところをベン図に整理する。</p> </div> <p>〈同じところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書かれている内容 <u>役目</u> (いろいろな形や大きさのものを包んで運べること) <u>便利さ</u> (どこにでも持ち歩けること) <u>丈夫さ</u> (繰り返し使えること) <p>〈違うところ〉</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い ・絵 ・一目で書いていることが分かる </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い ・写真 ・詳しい ・理由 ・いろいろなことが分かる </td> </tr> </table> <p>3 全体で交流する。</p> <p>○2つの文章の同じところや違うところは、どんなところでしょうか。</p> <p>4 説明の順序について考える。</p> <p>○同じところにはどんなことが書かれていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>役目</u> (いろいろな形や大きさのものを包んで運べること) ・<u>便利さ</u> (どこにでも持ち歩けること) ・<u>丈夫さ</u> (繰り返し使えること) <p>○順序について、本とカードを比べて気が付いたことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本もカードも同じ順序で説明されている。 <p>5 本時の学習をまとめる。</p>	<p>カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い ・絵 ・一目で書いていることが分かる 	<p>本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い ・写真 ・詳しい ・理由 ・いろいろなことが分かる 	<p>◇見付けたことを1つの付箋に1つ書くように指示する。</p> <p>◇付箋が書けた児童から、ベン図に貼って整理していくようにする。</p> <p>◆友だちの付箋を参考にしてよいことを伝える。</p> <p>◇同じところ、違うところを明確にしながら発表させる。</p> <p>◇役目、便利さ、丈夫さの観点のカードを提示し、どの文章がどの観点到に当てはまるか考えさせる。</p> <p>◇カードと本の同じところに線を引き、どんな順序で説明しているかを考え、どちらも同じ事柄の順序であることに気付かせる。</p> <p>◇比べて分かったことをまとめるようにする。</p>	<p>☆2つの文章を比べて同じところや違うところを見付けようとしている。</p> <p>◎2つの文章を比べて同じところや違うところを見付け、説明の順序が同じであることに気付いている。〔読む能力〕(行動観察・ワークシート)</p>
<p>カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い ・絵 ・一目で書いていることが分かる 	<p>本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い ・写真 ・詳しい ・理由 ・いろいろなことが分かる 			
<p>★めざす児童の姿 (カードと本の説明の事柄の順序が同じであることに気付ければよい。)</p> <p>カードと本は、文章の長さや詳しく説明しているかどうかなどの違いがあった。同じところには、道具の説明の順序が同じように書かれていた。</p>				
<p>◇次時は、本時で見付けた違うところについて詳しく考えることを伝える。</p>				

(4) 板書計画

<p>二つのせつめいをくらべて、道ぐはくぶつかんをひらこう ふるしきはどんなぬの めあて 二つの文しよをくらべて、道ぐのせつめいのしかたの じゅんじよを考えよう。</p>	<p>カード</p> <ul style="list-style-type: none">・みじかい・絵・一目で書いていることがわかる	<p>本</p> <ul style="list-style-type: none">・書かれていないようやく目 (いろいろな形や大きさのものをつつんで はこべること)べんりき (どこにでももちあるけること)じようぶさ (くりかえしつかえること) <ul style="list-style-type: none">・ながい・しゃしん・くわしい・りゆう <p>いろいろなことがわかる</p>	<p>まとめ</p> <p>同じところ おなじことが、おなじじゅんじよで書かれ ている。</p> <p>違うところ 文のながさ、くわしさ、絵としゃしん</p>
---	---	---	---